

2025 年度 出題の意図

科目名：政治経済

出題の基本方針として、出題形式は大問 4 題、解答総数は 40 個程度。出題形式は記述式で、高校で学習する政治・経済について、また、それらに関する法律、社会などの各分野から幅広く出題している。

出題に関しては、教科書や資料集、用語集などで学習する内容が中心となっているが、一部、時事問題に関する内容が問われることがあり、出題の意図は、高校で学んできたことを確認することを問う内容となっている。したがって、新聞やテレビ、その他のメディアなどで取り上げられた社会での出来事を日々チェックし、学校での学びだけではなく、周囲の人と議論するなど、社会の出来事に関心を持つようにして欲しい。

出題の中には、グラフや図表を用いた問題が出題されることがある。しかし、それらの内容は、高校での学習範囲内で解答できるレベルである。したがって、教科書や資料集などに示されている図表やグラフについて、それらが意味すること、その変化や傾向など、社会のどのような影響を与えるのかを意識しながら、学習に取り組んでもらいたい。

出題意図は、政治・経済ならびに、それらの社会への影響などについて、基本的な内容を理解しているかを問う問題により全体が構成されている。したがって、高校で学ぶ範囲の政治・経済に関するキーワードを直接問う設問が大部分である。その中には解答欄に直接記載する形式の質問がある。その意図は、言葉の意味を単に認識しているだけではなく、直接記載することにより、キーワードを正しく理解できているかを確認するためである。

次に、設問数はそれほど多くないが、記述を読んだ上でその成否を判断する形式の出題形式も併用している。設問には、正しい文章を選ぶだけではなく、図表やグラフなどを読み取り、それがどのようなことを示しているのかを問う設問も一部ある。これら出題の意図は、高校において、政治・経済に関する基礎的な知識を有しているかを測ると同時に、大学に入学してから、さらに学び続けるための基礎学力を確認する意図がある。